

TANEBI STORY

— School（育てる）× Community（つながる）

福祉でも、教育でもない。

第3の道をつくる。

支援される側で終わらせない。



“お店屋さんごっこ”からはじまる
新しい自立の形。

TANEBI STORYは、学びと実践をつなぐ伴走型プログラムです。

スキル・資格・資金
不要な環境を

“弱さ”を抱える人でも自立への
一歩を踏み出せるよう ハードル
を極限まで取り除いた未来環境
を提供します。誰もが、みい
ちゃんと共に「挑戦できる社会」
を描いていきます。

みいちゃんに続く100名
の起業家を送り出す

経営のノウハウを丸ごと共有す
る「伴走型School」。
“親なきあと”に必要な“自分で生
きる力”を育て、その先に、本当
の自立とワクワクが待っています。

仲間で支えあい
困難を乗り越える

ひとりでは不安でも、仲間がいれ
ば前に進める。共に挑戦し、共
に笑い、失敗さえも分かち合う。
“弱者”とは、這い上がろうとす
る“強者”のこと。あなたのその苦
難が、次の一歩の原動力になりま
す。

第1期生 2026年開講予定



アンバサダー みいちゃん



福祉制度の枠を超え、みいちゃんのお菓子工房
での実績・経験を社会実装していくー

自閉症でありながら独学でケーキ屋として12歳で自立・起業。
福祉での就労という選択をせず、自分で生きる道を選び、歩む中で
見えた「**自分で稼ぐ**」**自立への道筋**を共に作っていく。

障がい者と呼ばれる仲間が、制度の枠を超え、

「**支援される**」から「**支える**」へと変わる。

TANEBI STORYは、みいちゃんのお菓子工房から生まれた
“自分で動く力”を育てる新しい仕組み。
ここで生まれるのは、スキルではなく、“生きる力”です。

できないを
きっとできるに変える

説明会参加
申込 →

